

# カメラの原点・針穴写真って？



((4))

紀元前までさかのぼるカメラの原理 探究心旺盛な中学生の皆さんに向けて、弘前大学の先生たちのユニークな研究を紹介するこの連載。今回のテーマは「写真術」です。スマートフォンやデ



研究写真・題名針穴写真作品「三上ビル前」  
新しい表現法としてアーティストからも注目を集めています。最後に、佐藤先生からのメッセージ。  
「人間が肉眼で眺める映像は、機械のように1000分の1秒でとらえることはできません。針穴写真は、人間が美しいなど心を動かしながら数秒間に眺める映像のように、時間をかけて写していきます。アナログ技術(カメラ制作、撮影、現像)と、デジタル技術(画像補正、プリント)のハイブリッドシステムによって、オリジナルな表現ができるのも魅力。写真を学術的に研究したり芸術作品を作りたい方は、一緒に学んでみませんか」。

## シンプルでも奥深く



佐藤光輝准教授

デジタルカメラが普及した今、皆さんにとって写真はごく身近な存在ですよね。でも「カメラって、いつ頃誕生したの?」そもそも、写真ってなぜ撮れるの?と、フシギに思ったことはありませんか? 原理は、この現象を応用したものです。十五、十六世紀には、ヨーロッパの画家たちの間でこの現象を利用した装置を使って絵を描くことが流行。レオナルド・ダ・ヴィンチも作品を残しています。十九世紀になると光を感じて記録できる感光剤が発見されます。それによって、長年人々が渴望した夢の技術・写

真撮影が可能になったのです。古くて新しい写真術を学ぼう! 本学の佐藤光輝先生は、デザインの実業で写真術を取り上げ、カメラの歴史と技術をたどることで、人間と映像の関係について研究しています。題材を選んでいるのは、カメラの原点ともいえる針穴写真(ピン



イラスト・弘前大学教育学部 樋上玲汰

ホールカメラ)と、青写真(サイアノタイプ)。針穴写真は、小さな穴から光を集めて写す原始的な撮影技法です。この技法は、走る車など動いているものは写りませんが、写し出される景色が淡く幻想的な雰囲気仕上がりなのが特徴。空き箱や缶などを利用しカメラを作る工程も楽しめます。一方、カメラを用い

先生 佐藤光輝准 第4回の



弘前大学人文社会学部 日比野愛子准教授

「質問 第2回の記事についての質問です。私はアンケートや調査で、どちらともいえない、わからないという回答を選んでしまいがちですが、なぜ、回答者が中立的な回答を好んでしまう気持ちを持っているのでしょうか。(ペンネーム〓シユレディンガーさん)」  
「回答 アンケートで「どちらでもない」「わからない」という回答を選ぶ方は確かに多いです。一つには、両方の意見を持つため片方を選びにくい(たとえは培養肉に賛成で

「質問 第2回の記事についての質問です。私はアンケートや調査で、どちらともいえない、わからないという回答を選んでしまいがちですが、なぜ、回答者が中立的な回答を好んでしまう気持ちを持っているのでしょうか。(ペンネーム〓シユレディンガーさん)」  
「回答 アンケートで「どちらでもない」「わからない」という回答を選ぶ方は確かに多いです。一つには、両方の意見を持つため片方を選びにくい(たとえは培養肉に賛成で

もあつた反対でもあつた」といった心理があります。もう一つは、判断をためらってしまつた(判断を先延ばししたい)という心理で選ぶ方もいます。こうした心理は日本人に特徴的でもあります。ただ議論を進める上で、表面的にいくことが必要かもしれません。」

「質問 第2回の記事についての質問です。私はアンケートや調査で、どちらともいえない、わからないという回答を選んでしまいがちですが、なぜ、回答者が中立的な回答を好んでしまう気持ちを持っているのでしょうか。(ペンネーム〓シユレディンガーさん)」  
「回答 アンケートで「どちらでもない」「わからない」という回答を選ぶ方は確かに多いです。一つには、両方の意見を持つため片方を選びにくい(たとえは培養肉に賛成で



※この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。 転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。 令和3年9月6日 陸奥新報掲載